

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

令和3年 12月 24日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号

氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）

ニチコン草津株式会社

代表取締役 小林 宏樹

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~・~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	ニチコン草津株式会社 代表取締役 小林 宏樹
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	ニチコン草津株式会社					
事業所の所在地	滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号					
主たる事業	細分類番号	2	8	2	1	抵抗器・コンデンサ・変成器・複合部品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上、事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

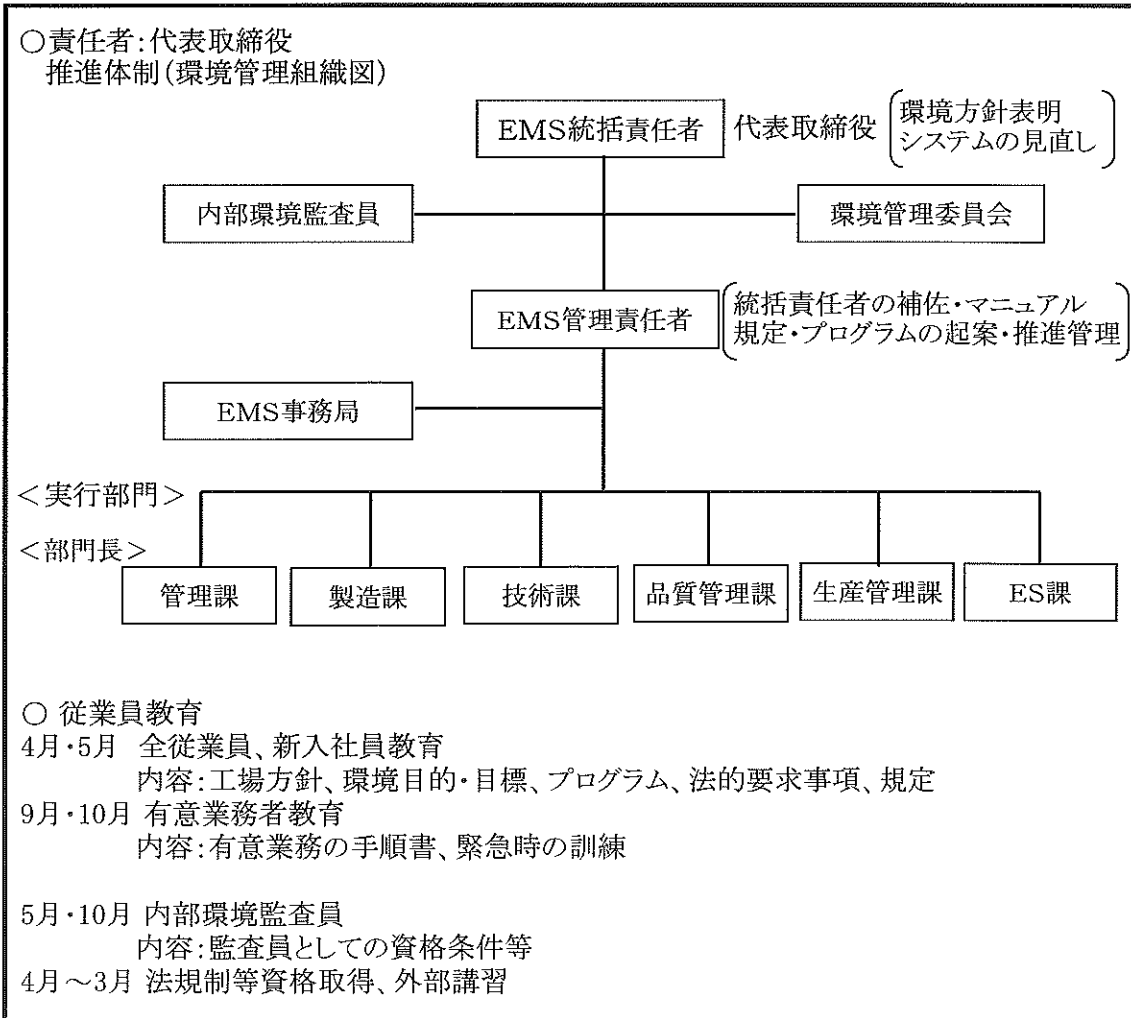
計 画 期 間	令和3 年度 ~	令和5 年度
---------	----------	--------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当社は「地球との共生」「人と地球に優しい社会」の実現を目指して行動します。工場が隣接する琵琶湖は「マザーレイク」と呼ばれ、近畿の飲料水源となっている世界でも希な「母なる湖」です。私達は琵琶湖をとりまく自然環境保全に最大限の配慮をするとともに、コンデンサ及び応用製品の開発・生産にかかわる環境側面並びに、リスク及び機会を常に念頭に入れ、地域社会とのつながりを大切にして企業活動を推進します。

1. ニチコングループの環境憲章に基づき、経済的、技術的に可能な範囲において、組織体制をもって環境目標・プログラムの設定と定期見直しを行い、環境パフォーマンス向上のため環境マネジメントシステムの継続的改善及び環境汚染予防を図ります。
2. 環境関連の法律、規則、条例その他の要求事項を順守するとともに、社内の自主管理基準を定め環境保全に努めます。
3. 循環型社会形成への取組みとして、環境への影響を配慮した製品の提供に努め、資源の有効利用、使用エネルギーの削減並びに、資源の再利用・リサイクルを推進し廃棄物の削減に取り組めます。
4. 当社の事業活動・製品・サービスにかかわる著しい環境側面の改善と汚染防止を図るとともに、オゾン層破壊物質、地球温暖化物質及び有害な化学物質の削減と汚染物質代替えを推進し、環境負荷低減に取り組めます。
5. 生物多様性の保全に努めます。
6. 当社で働く人又は当社のために働くすべての人に対し、環境方針の周知と環境に関する意識向上を図るために、教育・訓練及び社内広報活動を行います。
7. 地域住民とのコミュニケーションを図るとともに、工場周辺の美化活動並びに地域活動により地域社会との協調を図ります。
8. 環境監査を実施し、自主管理活動の継続的改善に努めます。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

別紙1及び2参照

二酸化炭素、いおう酸化物、ばいじん、窒素酸化物の低減対策項目

物質名	削減施策	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	
二酸化炭素	省エネルギー(電気)								
	①昼休み時での照明消灯	照明消灯	照明消灯	照明消灯	照明消灯	照明消灯	照明消灯	タイマー設定による消灯等	
	②OA機器の未使用時での停止	未使用時の停止	未使用時の停止	未使用時の停止	未使用時の停止	未使用時の停止	未使用時の停止	パソコン等	
	③生産設備の運転時間管理	運転時間管理	運転時間管理	運転時間管理	運転時間管理	運転時間管理	運転時間管理	含浸処理装置等	
	④コンプレッサの消費電力削減								
	1)省エネタイプへの更新	37kw更新	22kw更新					省エネ型コンプレッサへの更新	
	2)エア一連れ個所の修理	洩れ個所修理	洩れ個所修理	洩れ個所修理	洩れ個所修理	洩れ個所修理	洩れ個所修理	蒸気配管、バルブ等	
	⑤集塵機モーターインバータ化	No2集塵機						No1, 3, 4, 5は2001年度までに完了	
	⑥エアコンの温度適正化、高効率化								
	1)室温の温度管理	温調器の取付け	室温の温度管理	室温の温度管理	室温の温度管理	室温の温度管理	室温の温度管理	エアコン温調器の設置	
2)フィルターの清掃	定期清掃	定期清掃	定期清掃	定期清掃	定期清掃	定期清掃	エアコン効率の維持		
3)Vベルトの滑り防止	ベルトの定期交換	ベルトの定期交換	ベルトの定期交換	ベルトの定期交換	ベルトの定期交換	ベルトの定期交換	エアコン効率の維持		
⑦在庫削減による省エネ	在庫削減	在庫削減	在庫削減	在庫削減	在庫削減	在庫削減	無駄なエネルギーの削減		
⑧歩留り向上による省エネ	歩留り向上	歩留り向上	歩留り向上	歩留り向上	歩留り向上	歩留り向上	無駄なエネルギーの削減		
⑨リードタイムの短縮による省エネ	リードタイムの短縮	リードタイムの短縮	リードタイムの短縮	リードタイムの短縮	リードタイムの短縮	リードタイムの短縮	各生産ラインのタイムの短縮		
省資源									
いおう酸化物	①ボイラのA重油使用量削減								
	1)蒸気配管の保温修理	保温工事	保温工事	保温工事	保温工事	保温工事	保温工事	保温不良個所の修理	
ばいじん	2)スチームトラップの蒸気洩れ修理	蒸気洩れ修理	蒸気洩れ修理	蒸気洩れ修理	蒸気洩れ修理	蒸気洩れ修理	蒸気洩れ修理	トラップの修理、交換	
	A重油の削減								
窒素酸化物	①エコノマイザーの更新		No2ボイラ更新	No3号機更新	No3号機更新	No1号機更新	No1号機更新	廃熱回収でエコノマイザー3台更新	
	②蒸気配管の保温修理	保温修理	保温修理	保温修理	保温修理	保温修理	保温修理	保温不良個所の修理	
	③スチームトラップの蒸気洩れ修理	蒸気洩れの修理	蒸気洩れの修理	蒸気洩れの修理	蒸気洩れの修理	蒸気洩れの修理	蒸気洩れの修理	トラップの修理、交換	
	④供給蒸気圧力の低減	蒸気圧力の低減	蒸気圧力の低減	蒸気圧力の低減	蒸気圧力の低減	蒸気圧力の低減	蒸気圧力の低減	燃料削減	
	⑤空気比の調整	No1号、2号調整	No3号調整	No1号、2号調整	No3号調整	No1号、2号調整	No3号調整	No3号調整	適性燃焼の維持
	⑥製品開発、生産	製品の開発・生産	製品の開発・生産	製品の開発・生産	製品の開発・生産	製品の開発・生産	製品の開発・生産	製品の開発・生産	油式から乾式コンデンサへの切替え

## 公表対象

## 標準様式第2号

(第1面)

## 1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	設備更新	ボイラー変更(A重油⇒都市ガス)による低減 A重油2.71/kl→13A都市ガス2.28/千m <sup>3</sup>	継続管理
2	運用対策	昼休み時での照明消灯 タイマー設定等の消灯等による電気使用量の低減	継続管理
3	運用対策	OA機器の未使用時での停止	継続管理 省エネタイプ2台導入済み
4	運用対策	生産設備の運転時間管理 効率の良い運転計画により電気使用量の低減	継続管理
5	設備対策	コンプレッサーの消費電力削減 省エネタイプへの更新、エアー漏れ箇所の修理による電気使用量の低減	継続管理
6	運用対策	エアコンの温度適正化、高効率化 1)室温の温度管理 2)フィルター清掃	継続管理
7	運用対策	電気自動車・HV車導入による低減	1台導入済み(2/4台) 以降継続管理・導入検討
8	運用対策	歩留り向上による省エネ	継続管理

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1	CO <sub>2</sub> 他	電気自動車・HV車導入による排気ガスの低減	継続管理
2	#REF!	#REF!	
3	#REF!	#REF!	

## (3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

取組計画に対して、ほぼ実施ができました、今後は施工した物を低エネルギーで稼働できる様、調整を図ります。又LED照明導入の促進、HV車の導入を検討し省エネルギー化を進めていきたいと考えます。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備更新	都市ガス用ボイラ活用による低減 A重油2.71/kl→13A都市ガス2.28/千m <sup>3</sup>	令和3年～令和5年
2	運用対策	昼休み時の照明消灯タイマー設定等の消灯等による電気使用量の低減 OA機器の未使用時での停止	令和3年～令和5年
3	設備更新	LED照明活用及び更新による低減	令和3年～令和5年
4	運用対策	生産設備の運転時間管理 効率の良い運転計画により電気使用量の低減	令和3年～令和5年
5	設備対策	コンプレッサーの消費電力削減 省エネタイプへの更新、エア漏れ箇所の修理による電気使用量の低減	令和3年～令和5年
6	運用対策	エアコンの温度適正化、高効率化及び省エネタイプへ更新 1)室温の温度管理 2)フィルター清掃 3)R22タイプ更新	令和3年～令和5年
7	運用対策	電気自動車・HV車活用による低減	令和3年～令和5年
8	運用対策	歩留り向上による省エネ	令和3年～令和5年
9	運用対策	自然エネルギーの有効活用(太陽光)	令和3年～令和5年

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

別紙3及び4参照









## 公表

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

自然エネルギーの蓄電・使用による資源消費の低減(化石燃料)、地球温暖化防止、ピークカットやピークシフトなど系統電力を抑制します。  
又大震災などの災害時に非常用電源としても利用できる分散電源を販売しております。

・CO<sub>2</sub>の大幅な低減 (売電の比較)

15KWタイプ平均発電量:29.8kw/日 年間CO<sub>2</sub> 5.5t削減

30KWタイプ平均発電量:59.6kw/日 年間CO<sub>2</sub> 11t削減

・災害時の非常用電源として活用

・資源消費(化石燃料)の低減

・ピークカットやピークシフトなど系統電力を抑制